ネットワークカード
SC22(Ver.1.11)
ファームアップ手順書

OMRON

はじめに

本書は、ネットワークカード SC22（以下、本製品）のファームウェアをアップグレードするための手順書です。

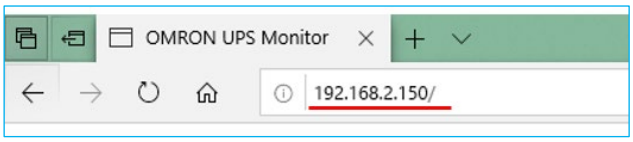
参考

ブラウザは、Microsoft Edge を使用した例で説明しています。
また、IP アドレスは本製品の初期値「192.168.2.150」で説明します。
ご使用の環境に合わせて適宜読み替えてください。
バージョン情報やファイル名は 2023 年 11 月時点のものです。適宜読み替えてください。
本アップグレード作業中に、UPS の出力が止まることはなく、UPS 本体が停止することもありません。
また、接続機器が停止・シャットダウンすることもありません。

1　本製品のバージョンを確認する

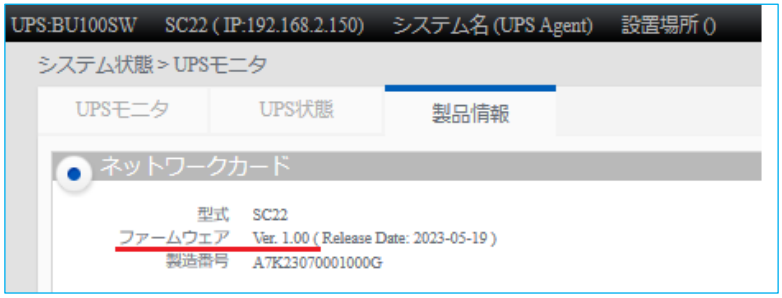
本製品のバージョンを確認し、アップグレードの要否を判断します。

1　Web ブラウザを開き、アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力、「Enter」キーを押す



2　【製品情報】タブをクリックする

3　「ファームウェア」欄でバージョンを確認する



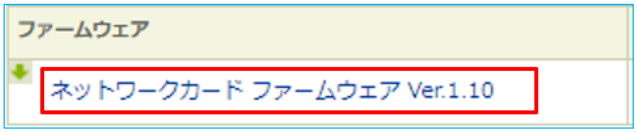
参考

ファームウェアが当社ホームページ掲載の最新バージョンでない場合、本書に従いアップグレードしてください。ファームウェアが最新バージョンの場合は、アップグレードは不要です。Web ブラウザを閉じ作業を終了してください。

2　ファームウェアをダウンロードする

当社ホームページからファームウェアをダウンロードし、任意のフォルダに解凍します。

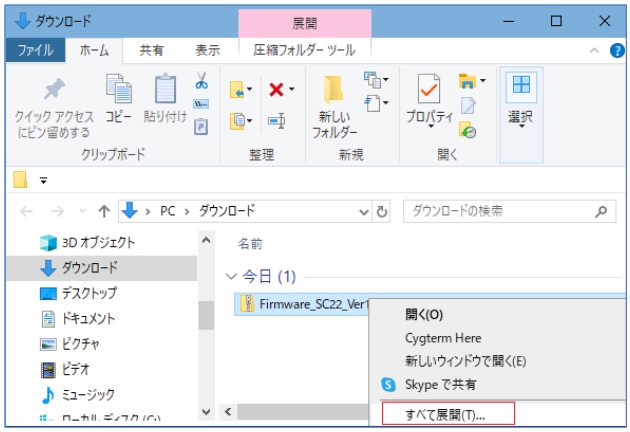
1　Web ブラウザでダウンロードページを開き本製品のファームウェアをダウンロードする



参考

Microsoft Edge では、ブラウザの設定でダウンロード先を変更できます。
ダウンロードフォルダをご利用の環境で確認してください。

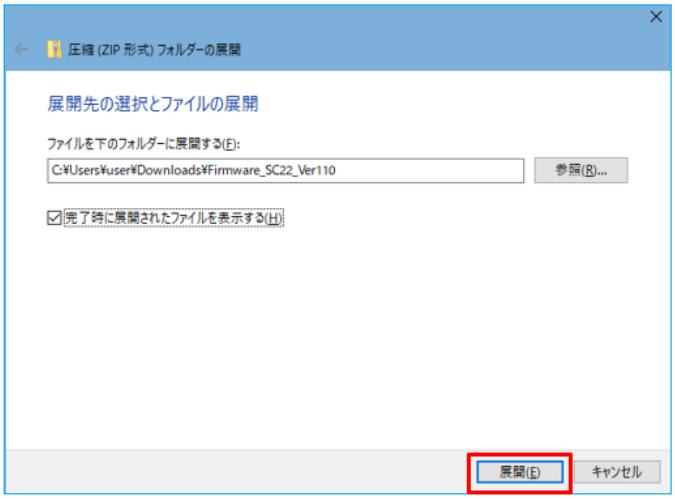
2　ダウンロードした「Firmware_SC22_Ver110.zip」を右クリックし、「すべて展開(T)」をクリックする



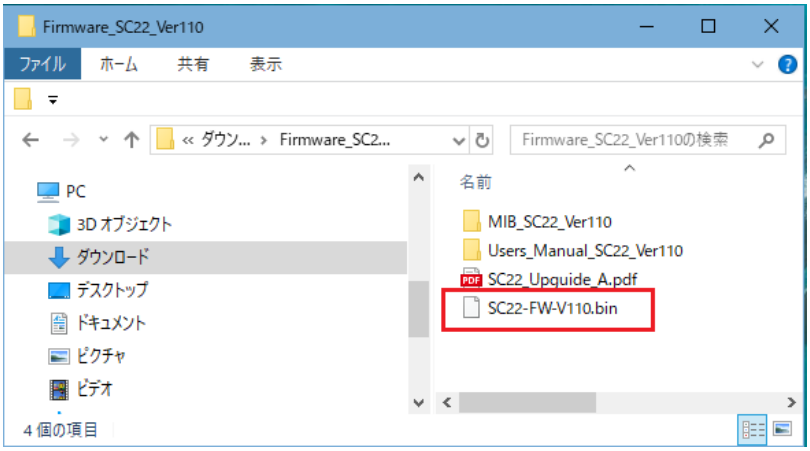
参考

解凍ソフトをインストールしている場合は、「Firmware_SC22_Ver110.zip」をダブルクリックで解凍しても問題ありません。

3　ファイルの解凍先を指定し、［展開(E)］ボタンをクリックする



4 解凍したフォルダに「SC22-FW-V110.bin」が作成されていることを確認する



以上でファームウェアのダウンロードと解凍は終了です。続いて、次項「本製品をアップグレードする」に進んでください。

3　本製品をアップグレードする

本製品は、アップグレード前のバージョンに関係なく最新版にアップグレードすることができます。
また、アップグレード後もアップグレード前の設定は引き継がれます。

注意

◆アップグレード時の注意

・本製品のアップグレード時、本製品と Web ブラウザ表示する操作用 PC のネットワーク環境は同一セグメントの環境を推奨します。
同一セグメントでも、ネットワークの状態が不安定であったり、ネットワークの負荷が高い状態ではアップグレードが失敗する可能性があります。失敗した場合は下記を確認してください。

◆本製品のアップグレードが失敗した場合

・解凍ツールを使用してダウンロードした圧縮ファイルを解凍していることを確認してください。
・Windows システムツールの「コマンドプロンプト」を開き、SC22 の IP アドレスの Ping 応答でタイムアウト等が発生しない安定した状態になっていることを確認してください。
・Web ブラウザ表示を一旦終了させてから、「3-2　アップグレード」の手順に従い、再度 Web ブラウザの表示からやり直してください。
再度実行してもアップグレードが失敗する場合、巻末のオムロン電子機器カスタマサポートセンタにお問い合わせください。

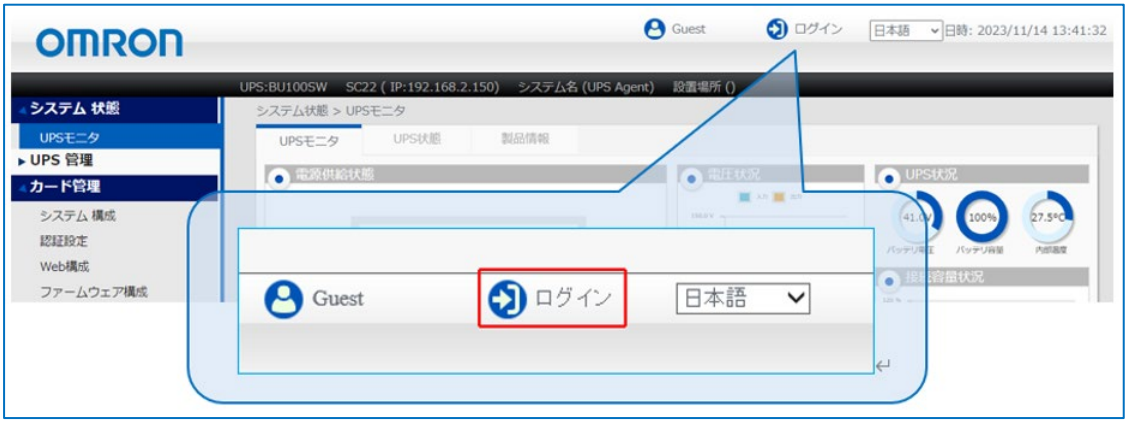
3-1　設定情報のバックアップ

アップグレードの前に本製品の設定情報をバックアップしてください。
アップグレード後に問題が発生した場合、動作実績のあるアップグレード前の設定情報に戻すことができます。
設定情報のバックアップは、本製品の設定ファイルのダウンロード機能で実行できます。「取扱説明書（ユーザーズマニュアル)」の「4.カード管理」を参照してください。

3-2　アップグレード

Web ブラウザ経由で本製品をアップグレードします。

1　モニタ画面右上の［ログイン］ボタンをクリックする



2　管理者権限でログインする

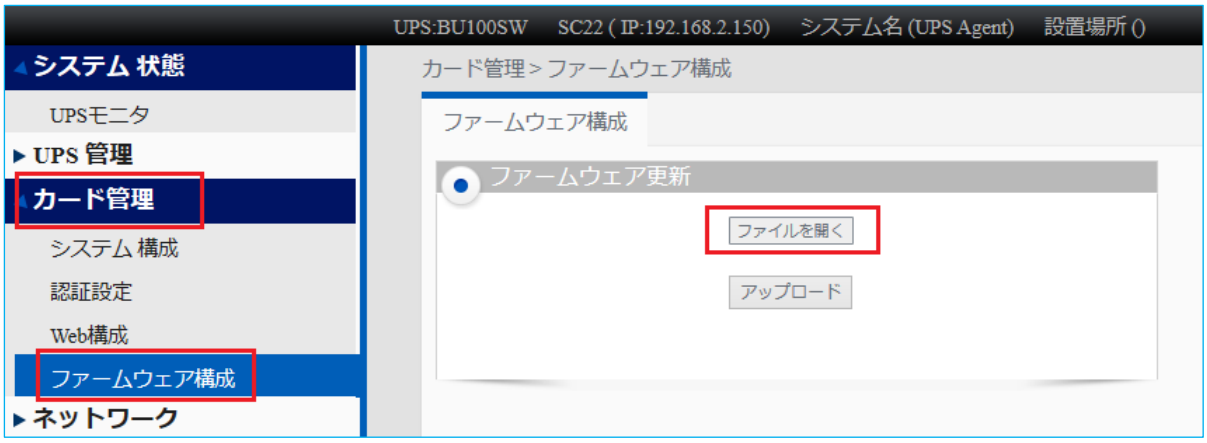
参考

本製品の初期ユーザ名、パスワードは以下の通りです。

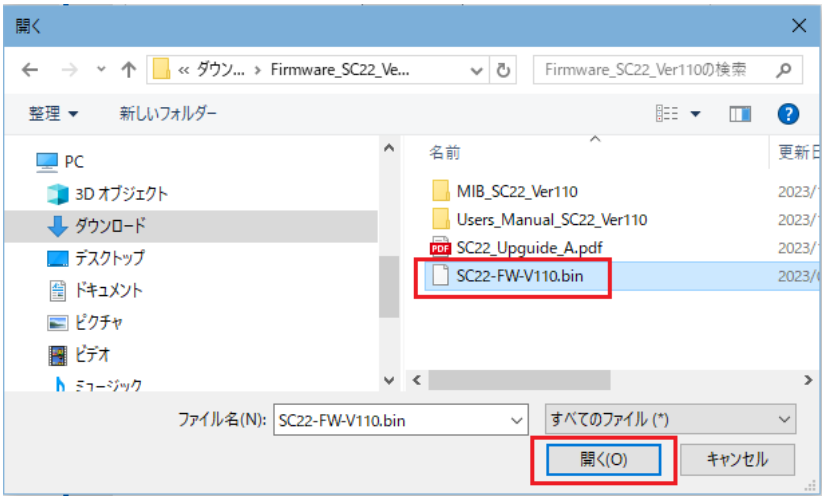
ユーザ名（初期値）	OMRON
パスワード（初期値）	admin

※大文字／小文字を区別します。

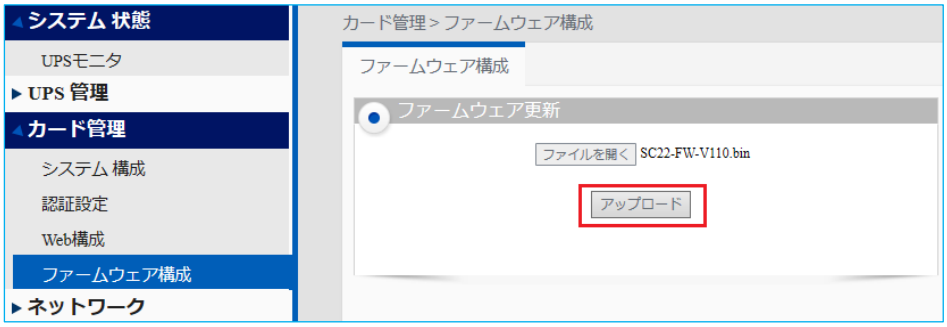
3　【カード管理】→【ファームウェア構成】を開き、［ファイルを開く］ボタンをクリックする



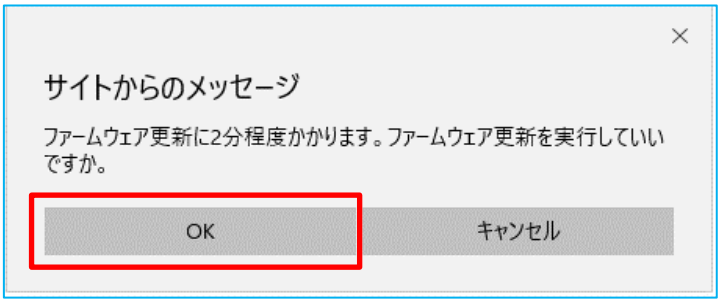
4　ダウンロードしたファームウェア「SC22-FW-V110.bin」を選択し、［開く(O)］ボタンをクリックする



5　［アップロード］ボタンをクリックする



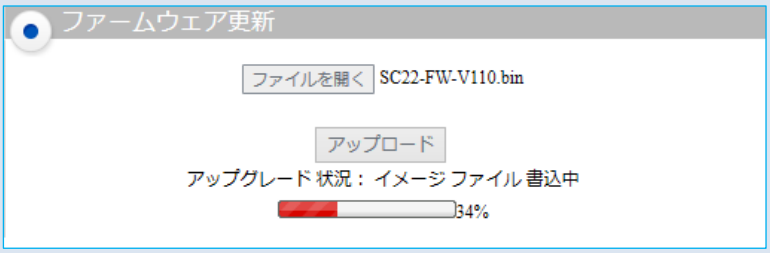
6　［OK］ボタンをクリックしアップグレードを開始する



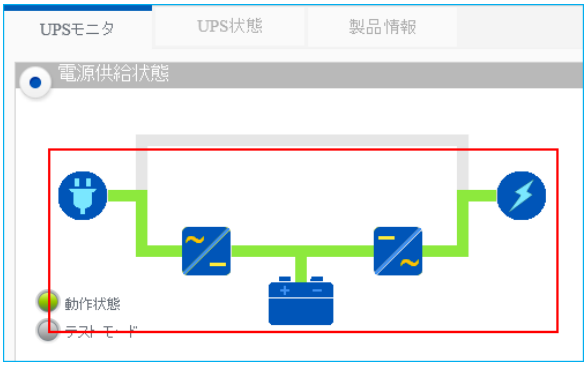
参考

アップグレードの進捗状況を棒グラフで表示します。

アップグレードが完了すると自動的に本製品が再起動しますので、2 分程度待ってください。



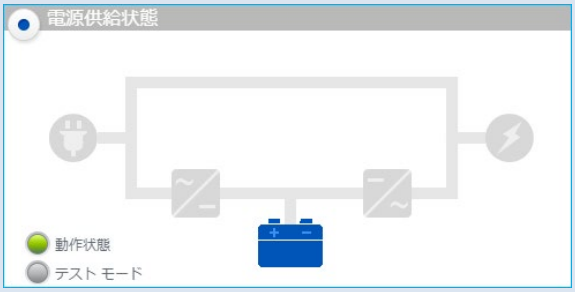
7　本製品の再起動後、【UPS モニタ】タブの「電源供給状態」で UPS の入出力状況が表示されていることを確認する



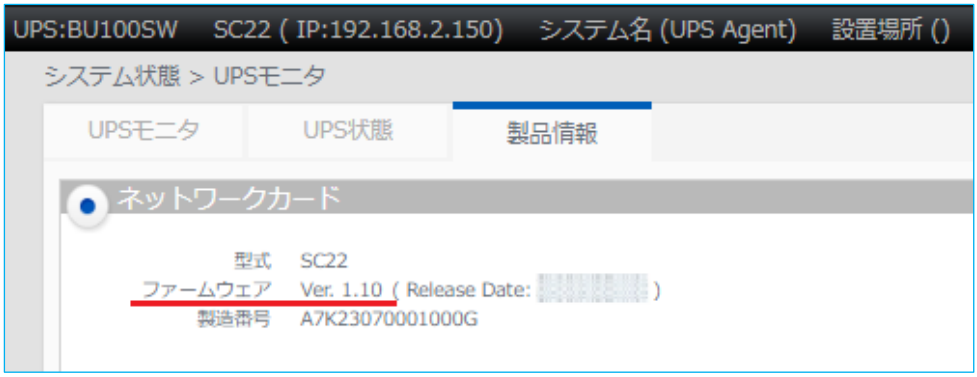
※常時インバータ給電方式 UPS の表示です。

参考

入出力状況が表示されていない場合は再起動途中ですので、表示されるまでお待ちください。



8　【製品情報】タブをクリックし、「ファームウェア」欄でバージョンが当社ホームページ掲載の最新バージョンになっていることを確認する



以上でファームウェアのアップグレードは終了です。

「4　シャットダウン動作の確認」を参照しシャットダウン動作の確認をしてください。

4　シャットダウン動作の確認

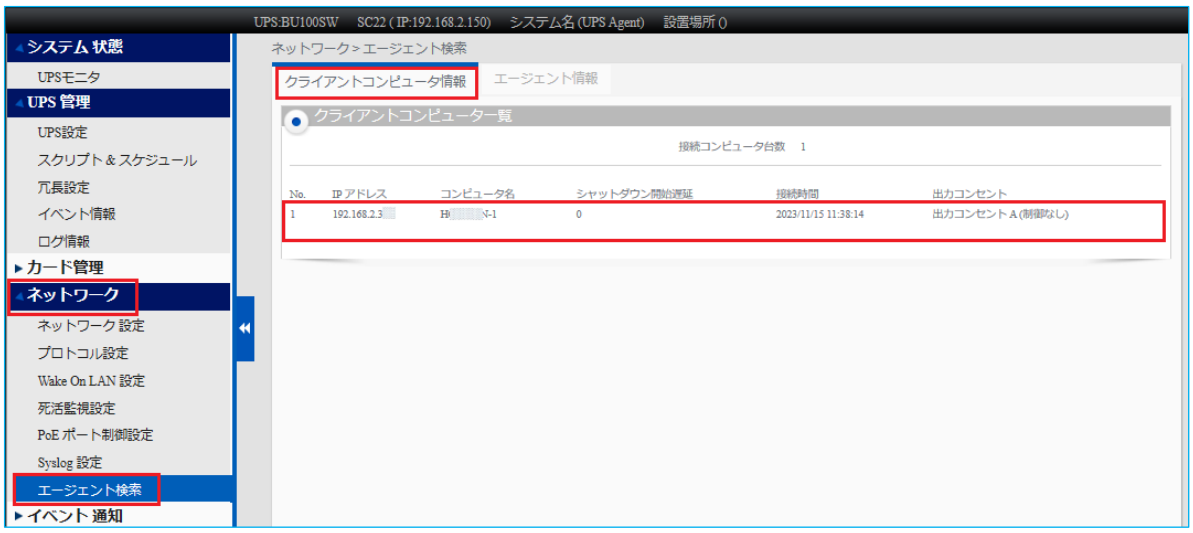
本製品が入力電源異常（停電）を検出するか、設定内容に沿ったシャットダウン動作をするか、確認します。本章の作業は必須作業ではありません。

4-1　本製品の状態を確認する

1　モニタ画面でアップグレード前に確認した設定内容が保存されているか確認する

例）シャットダウン設定
【UPS 管理】→【UPS 設定】→【シャットダウン設定】タブ

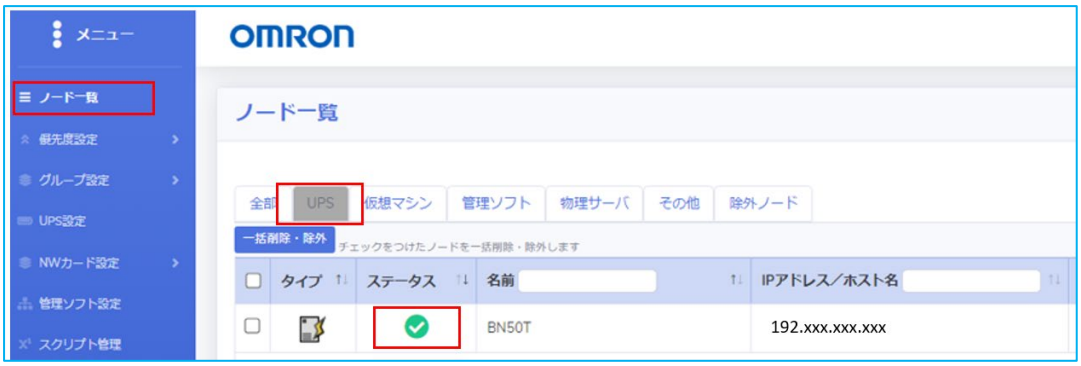
2　PowerAct Pro Slave Agent と連携してご利用の場合、【ネットワーク】→【エージェント検索】→【クライアントコンピュータ情報】タブで、連携する PowerAct Pro Slave Agent の通信状況を確認する



参考

本製品と PowerAct Pro Slave Agent を連携しない場合、本確認は不要です。

3　VirtuAttendant と連携してご利用の場合、VirtuAttendant にログインし、【ノード一覧】→【UPS】タブで、本製品のステータスが正常になっていることを確認する



参考

本製品と VirtuAttendant を連携しない場合、本確認は不要です。

VirtuAttendant で複数のネットワークカードを登録している場合、複数の UPS が表示されます。IP アドレスでファームアップした製品を確認してください。

4-2　シャットダウン動作を確認する

本製品が入力電源異常を検出し、設定通りにシャットダウンするか確認します。
接続機器を停止できる場合は「4-2-1　UPS の停止まで確認する」に、接続機器を停止できない場合はP.14「4-2-2　入力電源異常の検出確認」に進んでください。

4-2-1　UPS の停止まで確認する

1　【UPS 管理】→【シャットダウン設定】タブを開き、設定内容からその動作をイメージする

例）

入力電源異常		クライアントシャットダウン/UPS 停止
待機時間		60 秒
UPS 出力停止時間	出力コンセント A	180 秒
	出力コンセント B	60 秒
	出力コンセント C	60 秒

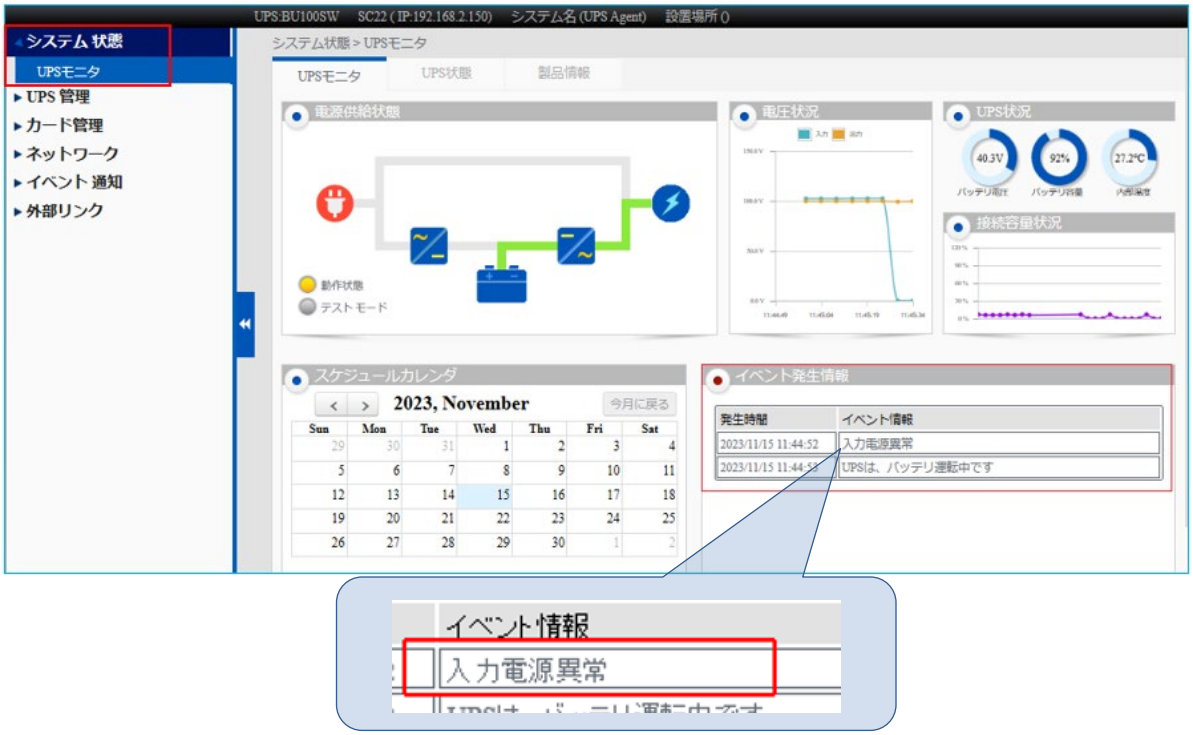
上記設定では、以下①～③の流れになります。
①本製品が「入力電源異常」を検出してから 60 秒でシャットダウン開始
　→クライアントコンピュータのシャットダウン開始／スクリプトシャットダウン開始
②シャットダウン開始から 60 秒後に出力コンセント B と C が出力停止
③シャットダウン開始から 180 秒後に出力コンセント A（UPS）が出力停止

注意

スレーブがある場合は【ネットワーク】→【エージェント検索】→【クライアントコンピュータ情報】タブにコンピュータが表示されていることを確認してください。

2　UPS の入力電源プラグをコンセントから抜き、停電状態（入力電源異常）にする

3　【システム状態】→【UPS モニタ】→【UPS モニタ】タブの「イベント発生情報」で「入力電源異常」を確認する



参考

本製品が停電状態（入力電源異常）を検出するのに、最大 30 秒程度のタイムラグが発生します。

4　「イベント発生情報」に「入力電源異常」のイベントが上がってから「待機時間」の経過でシャットダウンが開始されることを確認する

☞スレーブ（クライアントコンピュータ）のシャットダウン開始

☞スクリプトシャットダウン開始

5　シャットダウン開始から「UPS 出力停止時間」の経過で UPS が停止することを確認する

注意

「入力電源異常」イベントの「シャットダウン動作」で「クライアントシャットダウン/UPS 停止」以外を選択した場合は、バッテリ残量が無くなるまで UPS は停止しません。

参考

UPS が停止する（UPS が OFF になる）と、UPS 本体の「状態表示」や LCD が消灯します。

6　UPS が停止したら、UPS の入力プラグをコンセントに接続し復電させる

7　UPS が自動で再起動することを確認する

> **参考**
> UPS を自動再起動「しない」設定にしている場合は、UPS が「起動しない」ことを確認してください。

以上で入力電源異常によるシャットダウン動作の確認は終了です。

4-2-2　入力電源異常の検出確認

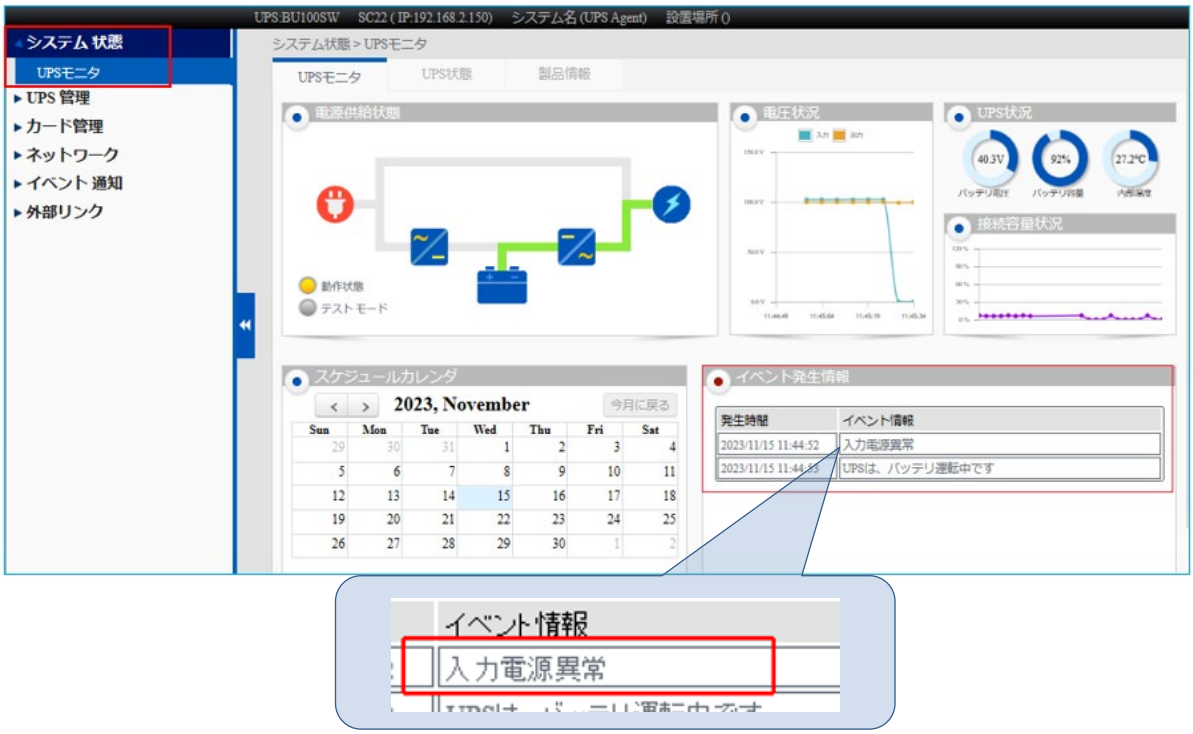
接続機器を停止できない場合は、停電（入力電源異常）の検出ができるか確認します。

1　本製品にログインし、【UPS 管理】→【シャットダウン設定】タブを開く

2　「入力電源異常」イベントの動作で「無効」を選択し、［設定］ボタンを押す

3　UPS の入力電源プラグをコンセントから抜き、停電状態（入力電源異常）にする

4　【システム状態】→【UPS モニタ】→【UPS モニタ】タブの「イベント発生情報」に「入力電源異常」を確認する



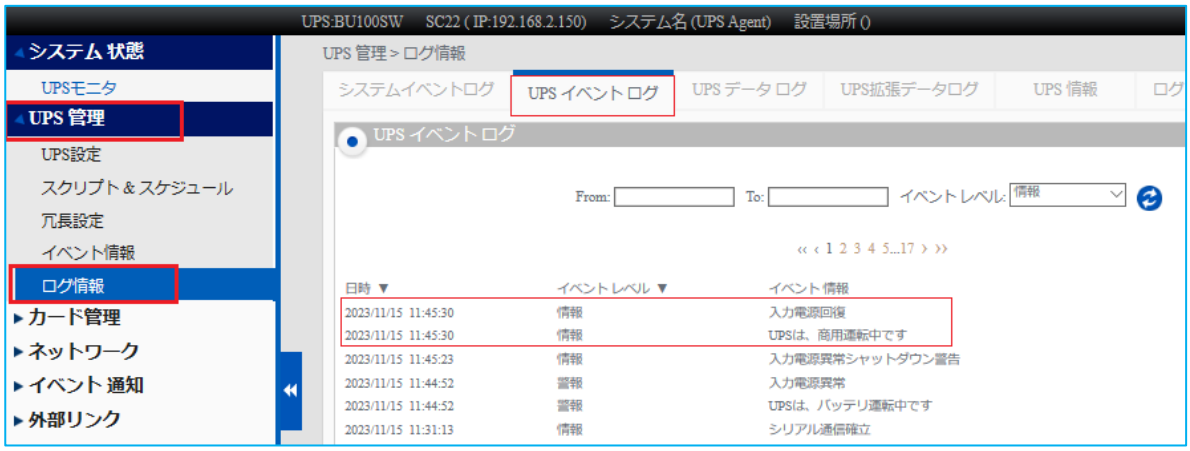
参考

本製品が停電状態（入力電源異常）を検出するのに、最大 30 秒程度のタイムラグが発生します。

5 UPS の入力プラグをコンセントに接続し「イベント発生情報」の「入力電源異常」が消えることを確認する

> **参考**
>
> 本製品が復電（電源の復旧）を検出するのに、最大 30 秒程度のタイムラグが発生します。

6 【UPS 管理】→【ログ情報】→【UPS イベントログ】タブに「入力電源回復」、「UPS は、商用運転中です」のイベントが記録されていることを確認する



7 【UPS 管理】→【シャットダウン設定】タブで「入力電源異常」の「シャットダウン動作」を元の設定に戻し、［設定］ボタンを押す

以上で入力電源異常の検出確認は終了です。

本書の内容にご不明点等ございましたら、下記オムロン電子機器カスタマサポートセンタにお問い合わせください。

0120-77-4717(フリーダイヤル)

オムロン電子機器カスタマサポートセンタ

電話受付時間　月～金曜日（祝祭日、当社の休日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00 を除く）
FAX　03-6718-3632
E-mail　**omron_support@omron.com**

オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社

K1M-Z-23627B